

第二章: FXの注文方法

成行注文とは？

成行注文は、現在の市場価格で即座に取引を行う注文のことです。つまり、市場価格での最良の取引条件で取引が行われます。これは、現在の価格での即時の取引を望むトレーダーに適しています。

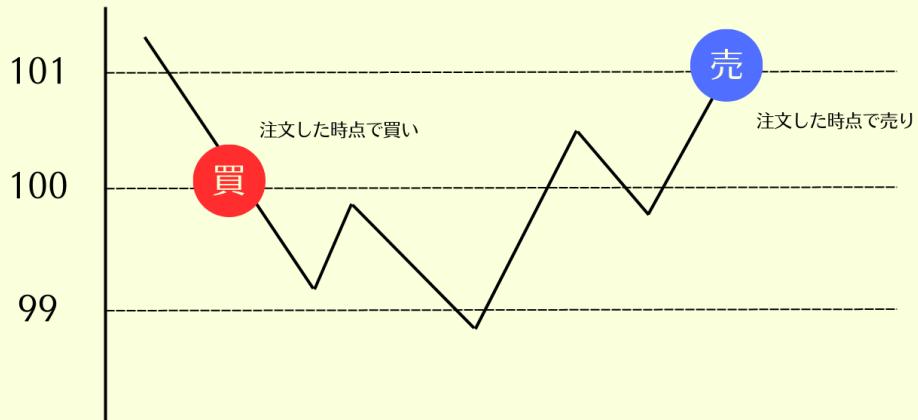
成行注文を行う手順は以下の通りです：

1. 取引プラットフォームにログインする: まず、FX取引用のオンラインプラットフォームにログインします。このプラットフォームは、通常、ブローカーが提供しています。
2. 通貨ペアを選択する: 取引したい通貨ペアを選択します。たとえば、米ドル/円(USD/JPY)、ユーロ/米ドル(EUR/USD)などがあります。
3. 注文画面に移動する: 選択した通貨ペアの取引画面に移動し、注文を行うためのオプションを探します。
4. 成行注文を選択する: 注文画面で「成行」を選択します。これにより、市場価格での即時の取引が行われることになります。
5. 取引量を入力する: 取引したい量(ロット数や通貨単位など)を入力します。この量に応じて、取引の額が決まります。
6. 注文を送信する: 入力した取引量を確認し、注文を送信します。すると、ブローカーがその瞬間の市場価格での取引を実行します。

成行注文の利点は、市場価格で即座に取引が行われるため、リアルタイムの市場状況に応じて素早くポジションを取ることができる点です。ただし、市場が急激に変動する場合には、取引が実行される価格が注文した時点の価格と異なる場合があります。そのため、リスク管理が重要です。

成り行き注文

現在の市場価格で即座に取引を行う注文のこと



指値注文とは？

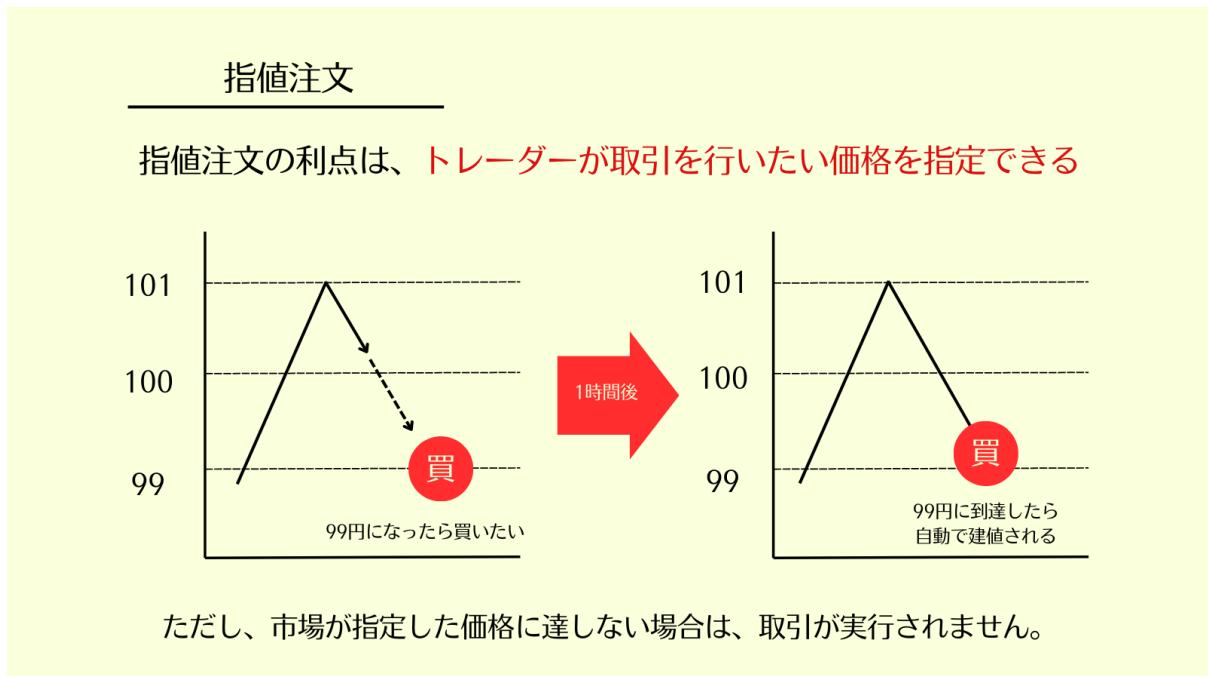
指値注文は、トレーダーが特定の価格で取引を行いたい場合に使用される注文の一種です。つまり、指定した価格になった時点で自動的に取引が実行される注文です。

指値注文を行う手順は以下の通りです：

1. 取引プラットフォームにログインする: FX取引用のオンラインプラットフォームにログインします。
2. 通貨ペアを選択する: 取引したい通貨ペアを選択します。
3. 注文画面に移動する: 選択した通貨ペアの取引画面に移動し、注文を行うためのオプションを探します。
4. 指値注文を選択する: 注文画面で「指値注文」を選択します。
5. 指定した価格を入力する: トレーダーは、取引を行いたい価格を指定します。この価格は、トレーダーが取引を行いたい特定の価格です。
6. 取引量を入力する: 取引したい量(ロット数や通貨単位など)を入力します。

- 注文を送信する: 入力した価格と取引量を確認し、注文を送信します。指定した価格に達した際に、指定した量で取引が自動的に実行されます。

指値注文の利点は、トレーダーが取引を行いたい価格を指定できる点です。市場が指定した価格に達した際に自動的に取引が実行されるため、トレーダーは市場の動きを待つ必要がありません。ただし、市場が指定した価格に達しない場合は、取引が実行されません。



逆指値注文とは？

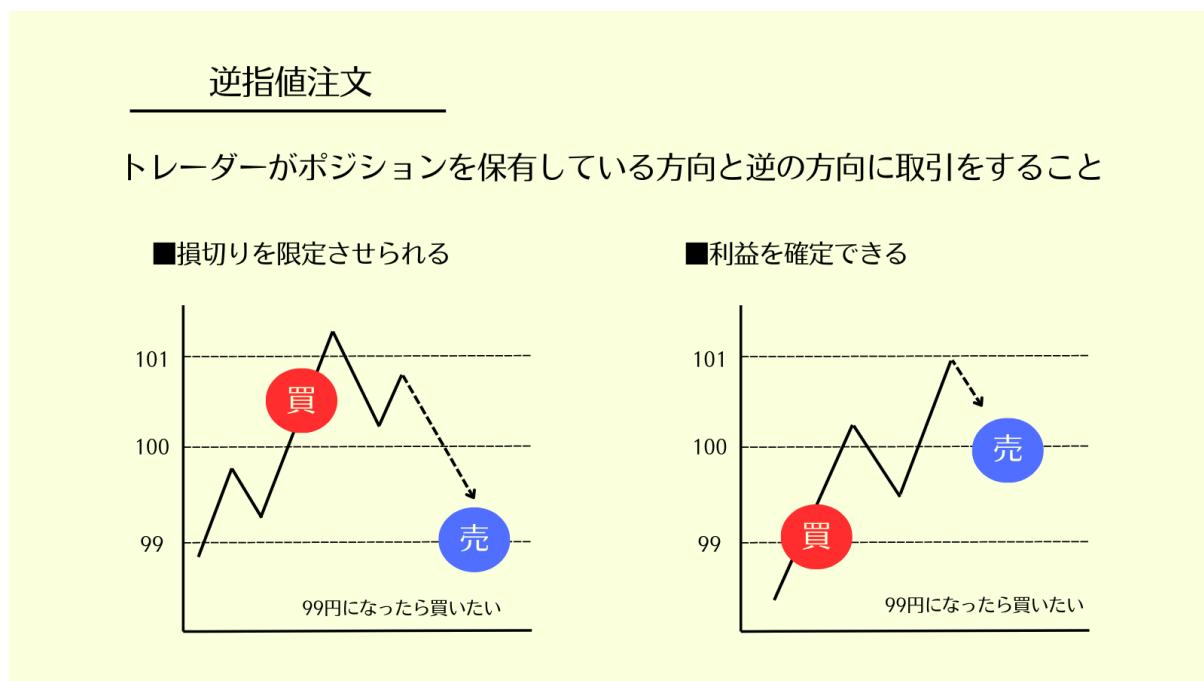
逆指値注文は、トレーダーが特定の価格に達した際に、自動的に逆方向の注文を行う注文の一種です。つまり、トレーダーがポジションを保有している方向と逆の方向に取引を行う注文です。これは、トレーダーが損失を最小限に抑えるためや、逆の価格動向で利益を確保するために使用されます。

逆指値注文を行う手順は以下の通りです：

- 取引プラットフォームにログインする: FX取引用のオンラインプラットフォームにログインします。

2. ポジションを保有しているか確認する: まず、ポジションを保有していることを確認します。ポジションを保有していない場合は、逆指値注文を行うことはできません。
3. ポジションの方向を確認する: 保有しているポジションの方向(買いか売りか)を確認します。
4. 逆指値注文を選択する: 取引画面で「逆指値注文」または「逆ストップ注文」といったオプションを選択します。
5. 逆指値注文の価格を設定する: トレーダーは、逆指値注文を行うための価格を設定します。これは、トレーダーが損失を許容できる限界価格です。
6. 逆指値注文の数量を設定する: 指定した価格に達した際に行われる逆の取引の数量を設定します。
7. 注文を送信する: 入力した価格と数量を確認し、注文を送信します。指定した価格に達した際に、逆の取引が自動的に行われます。

逆指値注文の利点は、トレーダーがポジションを保有している方向と逆の方向に取引を行うため、損失を最小限に抑えることができる点です。ただし、市場が指定した価格に達しない場合は、取引が実行されません。



IFD注文とは？

IFD注文(If Done Order)は、2つの注文を同時に設定し、1つ目の注文が成立した場合に自動的に2つ目の注文が発動する注文方法です。IFD注文は、トレーダーが複数の取引条件を同時に管理したい場合や、特定の条件が満たされた際に追加の取引を行いたい場合に便利です。

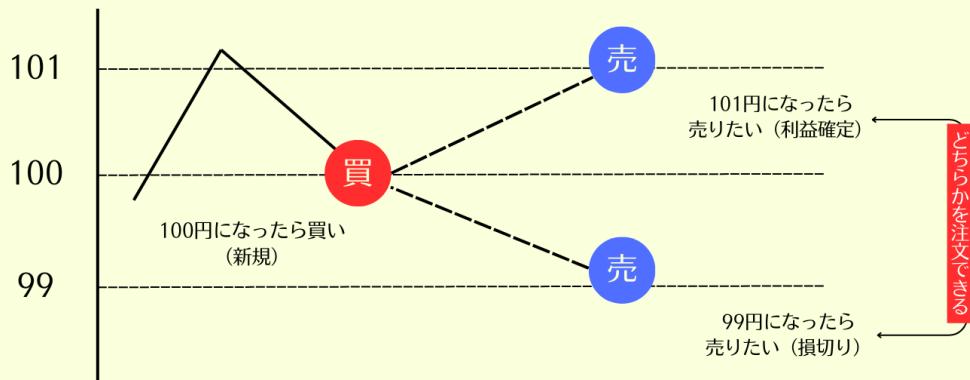
IFD注文を行う手順は以下の通りです：

1. 取引プラットフォームにログインする: FX取引用のオンラインプラットフォームにログインします。
2. 通貨ペアを選択する: 取引したい通貨ペアを選択します。
3. **IFD注文**画面に移動する: 注文画面で、IFD注文を行うためのオプションを探します。一般的には、「IFD注文」や「OCO注文」というタブやボタンが用意されています。
4. 1つ目の注文を設定する: 最初の注文(条件を設定する注文)を入力します。これは、例えば市場価格があるレベルに到達した場合の条件として使われます。この注文は、通常の指値注文や成行注文と同様に設定します。
5. 2つ目の注文を設定する: 1つ目の注文が成立した際に発動される注文を設定します。これは、例えば損切りや利益確定のための注文として使われます。この注文も、通常の指値注文や成行注文と同様に設定します。
6. 注文を送信する: 入力した条件や価格を確認し、IFD注文を送信します。1つ目の条件が満たされた場合、2つ目の注文が自動的に発動されます。

IFD注文の利点は、複数の取引条件を同時に管理できることです。例えば、利益を確定する注文や損失を最小限に抑えるための注文を同時に設定することができます。これにより、トレーダーは取引をより効果的に管理することができます。

IFD (イフダン) 注文

- 「新規注文」と「決済注文」をセットで出せる
- 新規エントリーから利確または、損切りまで自動でできる



OCO注文とは？

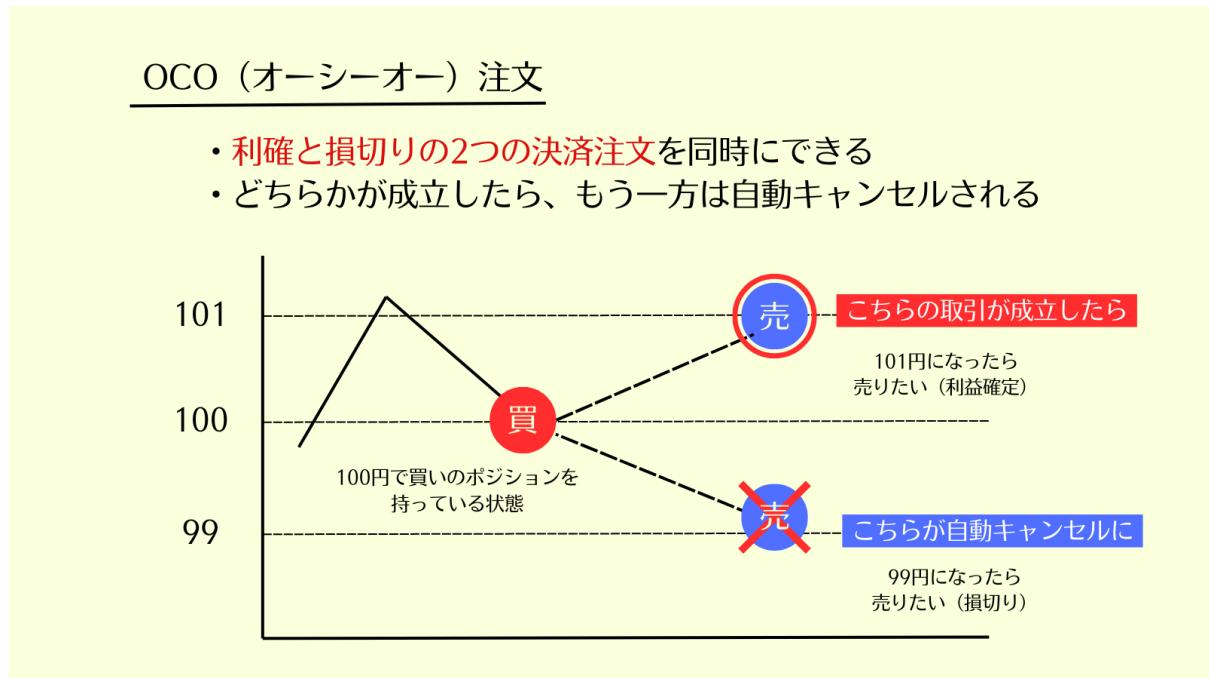
OCO注文(One Cancels the Other Order)は、2つの注文を同時に設定し、いずれか1つの注文が成立するともう一方の注文が自動的にキャンセルされる注文方法です。OCO注文は、トレーダーが複数の取引条件を同時に管理したい場合や、価格が上昇するか下降するか不確定な場合に便利です。

OCO注文を行う手順は以下の通りです：

- 取引プラットフォームにログインする: FX取引用のオンラインプラットフォームにログインします。
- 通貨ペアを選択する: 取引したい通貨ペアを選択します。
- OCO注文画面に移動する: 注文画面で、OCO注文を行うためのオプションを探します。一般的には、「OCO注文」や「One Cancels the Other」などのタブやボタンが用意されています。
- 1つ目の注文を設定する: 最初の注文を入力します。これは、例えば市場価格が上昇する場合の条件として使われます。この注文は、通常の指値注文や成行注文と同様に設定します。

5. 2つ目の注文を設定する: もう一方の注文を設定します。これは、市場価格が下降する場合の条件として使われます。この注文も、通常の指値注文や成行注文と同様に設定します。
6. 注文を送信する: 入力した条件や価格を確認し、OCO注文を送信します。いずれか1つの条件が満たされると、もう一方の注文が自動的にキャンセルされます。

OCO注文の利点は、2つの相反する取引条件を同時に管理できることです。例えば、価格が上昇する場合に利益を確定する注文と、価格が下降する場合に損失を最小限に抑えるための損切り注文を同時に設定することができます。これにより、トレーダーは取引をより効果的に管理することができます。



IFO注文とは？

IFO注文(If Then Order)は、1つの注文が成立した場合に別の注文が自動的に発動するように設定される注文方法です。IFO注文は、トレーダーが特定の条件下でのみ取引を行いたい場合や、取引戦略を自動化したい場合に便利です。

IFO注文を行う手順は以下の通りです：

取引プラットフォームにログインする: FX取引用のオンラインプラットフォームにログインします。

1. 通貨ペアを選択する: 取引したい通貨ペアを選択します。
2. IFO注文画面に移動する: 注文画面で、IFO注文を行うためのオプションを探します。一般的には、「IFO注文」や「If Then Order」といったタブやボタンが用意されています。
3. 1つ目の注文を設定する: 最初の注文を入力します。これは、例えば市場価格があるレベルに到達した場合の条件として使われます。この注文は、通常の指値注文や成行注文と同様に設定します。
4. 2つ目の注文を設定する: 1つ目の注文が成立した際に発動する注文を設定します。これは、例えば利益確定や損切りのための注文として使われます。この注文も、通常の指値注文や成行注文と同様に設定します。
5. 注文を送信する: 入力した条件や価格を確認し、IFO注文を送信します。1つの条件が満たされた場合、2つ目の注文が自動的に発動されます。

IFO注文の利点は、トレーダーが特定の条件下でのみ取引を行いたい場合に便利であることです。例えば、市場価格が一定の水準に到達した場合に利益確定や損切りを行いたい場合に、IFO注文を活用することができます。これにより、トレーダーは取引を自動化し、市場の変動に即座に対応することができます。

IFO (アイエフオー) 注文

- IFD注文とOCO注文の組み合わせでIFDOCOとも呼ばれる

